

令和元年度 地域活動支援助成事業

市では、地域が主役のまちづくり、協働のまちづくりに向けて、自治会やNPO、ボランティア団体などが実施する公益的な地域活動を支援しています。令和元年度は9団体が様々な活動に取り組みました。



うるま市児童館 合同リーダーズキャンプ

うるま市児童館連絡協議会

みどり児童センター・なかさ児童センター・石川児童館・きむたか子どもセンター・屋敷名児童館・宮城児童館の児童が石川青少年の家で、グループワークや研修を通してリーダー研修を行いました。6グループに分かれグループ毎にリーダーを決めてロープを使った遊びを考え発表しました。また、リーダーを中心に夕食のカレー作りを協力しながら美味しくいただきました。最初は知らない人同士でなかなかありましたが、それぞれ助け合いながら作業を行い、グループのまとまりができました。山登りが雨天の為中止となり、各グループで考えた遊びを発表し仲良く交流ができました。



いりばる夏まつり

西原区成人会

令和元年8月24日、西原第一公園にて、いりばる夏まつりを開催しました。西原区としては初めての試みで会場設営や照明等、また出店やバザーなどを行いました。不慣れで思うようにいかず苦慮したところもありました。しかしながら、屋敷名エイサー・天願エイサーの演奏、老人クラブを中心とした総踊り、また地元小中学生による演奏やパフォーマンス等で会場が盛り上がり、まつりを無事終了できました。まつりを開催するにあたり、公園の草刈作業や区内清掃を小中校と連携を図りながら実施したことにより、区民の連帯感や親睦が深まり、地域一体となるまつりを開催することができました。



埼玉浦和沖縄うるま少年サッカー交流会

埼玉交流会実行委員会

埼玉県さいたま市の浦和別所サッカースポーツ少年団を招いて、ホームステイしながら市内少年サッカークラブ（勝連FC・与那城FC・高江洲FC・中原FC・川崎AFC）の5チームと交流試合を行い、互いの地域環境や文化の違いを学習し、サッカーの技術向上、指導者間の指導力向上、すべての参加者の「心の交流」を図る目的で事業を行いました。埼玉交流会30周年記念式典、記念誌の作成、B&G勝連海洋クラブによるマリネレジャー注意喚起講習会等を行い、子ども達だけでなく保護者の交流も行いました。



文化祭&ふれあい菜園

みどり町三・四丁目自治会

地域住民が作成した生花、陶芸、写真、絵画、書道、盆栽等の展示や沖縄そば・野菜・漬物の即売会をメインとする文化祭を令和元年11月17日に開催しました。地域の方が多く来場し、地域の交流・活性化に繋がりました。また、ふれあい菜園では花の植栽やゴーヤー、芋などを収穫し地域の高齢者や高齢者施設、子ども達へ配布しました。今後も事業継続に向けて地域住民が気軽に公民館へ足を運ぶきっかけづくりに努めていきたいです。



地域活性化ネットワークづくり事業

東山区自治会

自治会・子ども会・老人会、福祉団体と連携し、地域の清掃活動や国道沿いに花壇整備、花木の植栽、夏まつり、その他スポーツ大会や名所旧跡の視察研修巡りを行いました。夏休み期間中には小中学生が立て看板や横断幕を作成。また東山まつりでは、子ども会を中心に司会、企画運営し、障がいのある方や高齢の方も共に参加して開催しました。地域住民の活動を通じ、環境づくりやそれぞれに合った結びつきを大切に、地域活性化に向けたネットワークづくりができました。



障害者社会参加促進事業

青空マーケット実行委員会

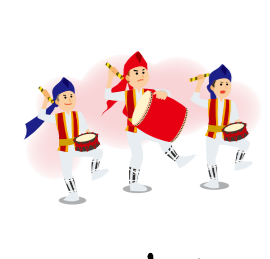
青空マーケット実行委員会は定期的に障害者の商品生産をより広く周知し、障害者の所得向上と社会参加を目的に青空マーケットを開催しています。今回、イベント周知のため本助成金を活用し、横断幕やポスター・イベントカード制作を行いました。市役所前や交差点・十字路などに横断幕を設置し、ポスターは市障がい福祉課、またイベントカードは社会福祉協議会、中部福祉事務所、市関係部署、市内店舗へ配布しました。その結果、市内からはもちろん市外からの集客も増え、また福祉事務所の横の繋がりが強化されました。今後も、イベントを通して障害者の福祉就労のPRをしていきたいです。



田場区「夕涼み会」

田場区自治会

田場区獅子舞・田場ティンペーや、青年会による田場エイサーなど、地域で活動している芸能を区民全体に啓発する目的で事業を行いました。第1回目の開催にあたり、企業からの協賛金、寄付等、また地域住民の会場設営等の支えにより、催し物や出店等、区外からの来場者も多く、盛大に開催することができました。また、夕涼み会を通して、田場区伝統芸能保存会への寄付や首里城復興義援金への寄付・奉仕活動も行いました。今後は伝統芸能を通じて多くの区民が企画提案し、小中学校を含む青少年の生涯学習に繋がるといいます。



少年野球競技人口拡大事業

NPO法人野球未来 RYUKYU

昨今の子供のスポーツ離れ、野球離れの現状を踏まえ、市内の未就学児及び小学校を訪問し、野球型レクリエーションや学習指導要領に基づいた野球型体育授業を実施しました。キャッチボールやストラックアウトなど、ゲーム性のある種目を取り入れ、楽しく野球にふれあう機会となりました。メディアなどを通して周知活動も行ったところ、県内の各学校から多くの実施要望がありました。しかしながら、人員不足で対応できない部分もあり、今後は多くの学校を訪問できるように努め、島しょ地域へも活動範囲を拡大していきたいです。

